



妙高市立妙高高原北小学校

3月号

学校だより

令和3年3月5日

「いつ変えるの?」

「今でしょ!」

校長 岡田 和則

コロナに始まり、コロナに終わろうとしている令和2年度も、残すところ3週間余りとなりました。「できることをできる範囲で」取り組んできた1年でしたが、先日は冬のまとめ「スノーフェスティバル」を様々な方から支援していただき、実施したところです。(中面 JCVも放送)

さて、コロナに振り回されはしても、そのコロナによりあぶり出され、今後進むべき道が次々と明らかになった1年でもありました。

一つ目は、「グローバリズム一辺倒からの脱却」です。インターネットで国境を越え、人と物が国を越えて行き交い、経済的な発展を享受してきた世界で、その流れが断ち切られました。まちらから人の姿が消え、スーパーの商品がなくなり、マスクさえ手に入らなくなりました。外国に依存する物流の実態が浮かび上がり、(その良し悪しは別として)パンデミックでは自国優先のナショナリズムになることが証明されました。先進国によるワクチンの囲い込みもその最たる例です。まずは自国(地元、ふるさと)の尊重です。また、移動制限によりリモートワークが推奨され、環境に優れた地方に改めて目が向けられました。意欲と創意さえあれば、仕事は場所を選びません。「都会や世界に出る」道だけではない、「ローカリズム」への流れです。

二つ目は、デジタル教育の遅れです。世界中で学校もロックダウンされ、オンライン授業の様子が報道されたのとは対照的に、日本の学校では休校期間中の学習といえば、宿題プリントを作成、家庭訪問で配布、回収して採点、次の訪問時に返却と新しいプリントを配るというアナログ作業。オンライン授業の功罪はさておき、世界との歴然とした差にもはや言葉ありません。ここへきてようやくGIGAスクール構想が前倒しされ、当校でも一人1台のタブレットが整備されます。もはやスマホなしでは生活が成り立たないのと同様、端末をツール(学習を効率的に進めるための道具)として使いこなせなければ学習が成り立たない、そこまで世界は進んでいます。

象徴的な二つの事例を挙げました。これまでの一極集中から地方への流れ、非接触やAIなどのデジタル技術は、今後加速度的に進んでいくでしょう。であるなら、教育の中身も自ずと変えていかなければなりません。外国語も、スマホ1台あれば、100以上の言語にAIが自動翻訳してくれます。言葉の壁はもはやありません。そうなれば、コミュニケーション意欲と、母国語による論理的な思考・話法がより重要となります。いわゆる「不易と流行」とはよく言われ、デジタルは「流行」の代表のように思われますが、既にデジタルは「不易」(変わらないもの)です。またふるさとを愛する教育も同様です。一旦外に出ても、また戻ることができるふるさとがあること、ふるさとを残していくための取組が一層求められるでしょう。それもスピード感を持ってです。何が本当に大切なのか、激変する社会が私たちに課題を突き付けています。

世の中が変われば学校(子供たちの学習)が変わります。学校が変われば(子供たちが変わっていけば)世の中も変わります。受け売り(少し古い)ですが・・・、「いつ変えるの?」

「今でしょ!」

最後まで滑り切ったよ! 信越学童、のんちゃんスキー大会

2月19日(金)伝統の信越学童親善スキー大会が行われました。今年度はコロナ禍により、無観客、開閉会式はなし、限られたスタッフのみという制限された大会ではありましたが、この大会を目標にしてきた子供たちは絶好の好天の下、最後まで滑りきることができました。クロカンスキーでは女子リレーが優勝の栄誉に輝き、華を添えてくれました。またそれに先立って行われた北小、南小、妙高小が参加したのんちゃんスキー大会でも、大いに成果を挙げました。各大会の入賞者は次のとおりです。



<第68回信越学童親善スキー大会 入賞10位まで>

アルペン男子 第5位:川本康輔 女子 第9位:山浦乃愛
クロカン男子 第9位:滝澤椿人 女子 第2位:後藤ゆいか
クロカン女子リレー 第1位 妙高高原北小チーム(池田咲希 郷戸咲希 後藤ゆいか)

<のんちゃんスキー大会 入賞6位まで>

クロカン低学年女子 4位:手塚美羽 中学年女子 1位:池田咲希 6位:長崎こころ
高学年女子 1位:後藤ゆいか 高学年男子 1位:滝澤椿人
男子リレー 4位:北A(滝澤椿人 鈴木匠 岡田琉暉)
女子リレー 1位:北A(池田咲希 郷戸咲希 後藤ゆいか)
アルペン低学年女子 1位:山崎紗空 3位:竹内結梨
中学年女子 1位:山浦乃愛 6位:岡山和香
高学年男子 2位:岡山竜之介 3位:川本康輔 5位:永高蒼



<第4回新潟県小学生クロスカントリースキー大会 2月28日(日)>

5年女子 4位:後藤ゆいか(全国大会出場)

令和2年度第130回卒業式、離任式の実施方法について

小学校最後の最大行事、第130回卒業証書授与式を3月24日(水)に行います。昨年度に引き続き今年度もコロナ禍により、市教委の指示により参加者を制限しての式となります。式場での参加は卒業生、保護者2名まで、教職員のみにて行い、来賓はお招きせず、在校生は教室からの参加になります。各教室と体育館をオンラインで結び、卒業生には教室の様子が、在校生には体育館の様子が見られるようにしていく予定です。

また、離任式は26日(金)に予定していましたが、今年度については登校日とせず、卒業式終了後に転出職員が放送で離任の挨拶をすることで、離任式といたします。従いまして、3月25日(木)から4月5日(月)まで連続した春休みとなります。

<2年度末、3年度初めの予定>

- ・3月23日(火) 終業式 給食最終 年度末大清掃 卒業式準備 14:10下校
- ・3月24日(水) 卒業式 8:50在校生登校 9:00卒業生登校 11:30頃下校
- ・3月25日(木) 春休み~4月5日(月)まで(12日間)
- ・4月6日(火) 新任式、第1学期始業式、入学式準備
- ・4月7日(水) 入学式